

環境影響評価審査書に対する事業者の主な対応

057	トヨタテクノクラフト株式会社湘南工場建設事業	
項目	審査書の指摘事項	事業者の対応
悪臭	有機溶剤の臭気対策について検討すること。	<p>今後グリーンテクなかいBブロックに進出する他企業からの臭気も考えられること、さらに悪臭発生 of 未然防止の観点から、以下に示す事項について積極的に検討を行い、有機溶剤の使用削減を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使用塗料の低公害塗料への転換 塗料メーカーの技術開発に応じ、水溶性塗料の導入を積極的に検討する。 また、電着塗装についても、工程の変更や加工方法の変更等で導入できる範囲の拡大を検討する。 ○塗装器具等の改善 低霧化エアスプレーガンや、ポータブル静電塗装ガンのメーカーにおける開発に積極的に参加し、改良スプレーガンの導入を検討する。 ○素材の変更 樹脂製素材への変更を積極的に検討する。 ○塗装工程における脱脂、洗浄用シンナーの代替物質の導入 脱脂、洗浄用に用いるシンナー、ガソリン代替品を検討し、有機溶剤の削減を図る。
その他	<p>(1) 大気汚染について窒素酸化物の削減について検討すること。</p> <p>(2) 塗料ミストの排出防止対策について塗装作業に伴い発生する塗料ミストの排出を防止する対策について検討すること。</p> <p>(3) 排水処理計画について 部品塗装の前処理排水には、クロム、鉛等の重金属が含まれていることから、排水が地下に浸透し、土壤汚染を生ずることのないように、排水処理施設の構造、設置方法等について具体的に検討をすること。 また、部品塗装の前処理等で界面活性剤の使用が考えられることから、その種類等を明らかにすること。</p>	<p>(1) 大気汚染について 窒素酸化物削減対策として、塗装用乾燥炉及び温水ボイラーの低NOx化対策を実施する。 その結果、本事業所の窒素酸化物の総排出量は、0.498 (Nm³/h)となり、中井町境地区土地区画整理事業に係る環境影響予測評価書で想定されている値 (0.525Nm³/h) 以下となる。</p> <p>(2) 塗料ミストの排出防止対策について 塗装作業時に発生する塗料ミストの捕集は、通常タイプによるものにさらに改良を加えた湿式スクラバーを用いて、予測評価書案に記載した捕集効率95%を上回る97%以上を確保する。</p> <p>(3) 排水処理計画について 排水処理施設の構造、設置方法を以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○排水処理施設は、排水の地下浸透防止及び保守管理の観点から地上設置型とする。 ○処理槽等の材質は鋼板とする。 ○本体施設は不等沈下を防止するため、一体の基礎の中に収容し、基礎構造は鉄筋コンクリートとする。 ○排水処理施設の周囲は、流出防止のため防液堤を作る。 ○処理槽の六面監視を行うため、処理槽下面に数cm～10cm程度の隙間を設けて、底からの漏洩監視が可能な構造とする。 <p>また、界面活性剤は部品塗装の前処理(脱脂工程)及び電着塗装の際に使用するが、これらを含む排水に対し、凝集加圧浮上処理を行う。</p>

(4) 通勤輸送計画について
通勤車両の抑制を念頭に置いた必要な台数の把握や通勤車両の集中を緩和するための方策について具体的に検討すること。

(4) 通勤輸送計画について
本事業所の従業員数850名の6割に当たる510名を自家用車通勤と設定し、通勤車両の抑制策として、フレックスタイム制度、自家用車通勤の許可制度を導入するほか、グリーンテクなかいBブロック全体の問題でもあるため、「グリーンテクなかいBブロック進出企業連絡協議会」を通じて、以下に示す内容で、通勤交通問題に関するきめ細かい検討を働きかけていく。

- 通勤車両に対する許可制度の推進 (通勤車両の総量規制)
- 通勤車両の集中を緩和する時差通勤、フレックスタイム制度の採用
- 中井町との交通安全対策などに関する協議
- 小田急線秦野駅前等の整備が進んだ段階でのシャトルバスの運行
- 通勤ルートの指定及び標識ステッカーの採用